

介護相談員活動  
相談・観察への対応と手法  
—事例検討のために—



介護相談員活動 相談・観察への対応と手法  
—事例検討のために—

A4判／70頁 2016年3月発行

550円(税込)

※購入申込フォームからお申込み頂けます。

→ [購入申し込みフォームへ](#)

介護相談員の活動事例から、介護サービスの質の向上に役立つ普遍的なテーマを取り上げ、具体的な取り組みと対応のポイントをまとめた1冊。

入居者の要介護度の重度化、認知症の入居者の増加等により、介護相談員の活動においては、入居者からの訴えによる相談業務以上に、介護相談員の訪問時の観察が、より大きな比重を占める傾向にある。介護サービスの現場で生じている課題が「なぜ起きているか」という原因を探り、対処法を導き出す手がかりを見出し、各自治体で研修を行う際の一助とするための冊子。

## 目次

### はじめに

#### ①食事関連

刻み食は味気ない  
青果が食べたい  
漬物が食べたい  
ご飯が美味しくない  
お雑煮が食べたい

#### ②施設的环境

災害時の避難経路の確保を  
施設の汚れが気になる  
ベッドを窓際に移してほしい  
テーブルと車椅子の高さが合っていない  
本棚の本が取りづらい  
備品の置き方に危険を感じる  
何故ベランダの窓に施錠してあるの  
壁に作品を飾りたい  
ベッドを壁につけてほしい  
有線放送が聴きたい

#### ③医療・健康・リハビリ

在宅介護が出来ないことが心苦しくストレスである  
病院に受診されることを提案  
食薬分離のご提案  
リハビリがしたい  
もっとリハビリがしたい

#### ④職員の対応やケア

同じことを何度も言わせないで  
同じ時間に迎えに来てほしい  
息子の結婚式に出席させたい  
男性スタッフの介助は恥ずかしい  
車イスで上手に移動できるようにしたい  
オムツにそのまま便をしてくださいといわれたが  
部屋ではなく浴室で脱衣したい  
自宅へ帰って暮らしたい  
家に帰りたい  
お茶の1杯でも差し上げてはいかが？  
施設に伝えて  
利用者の安全・プライバシーの確保がされていない  
友人に会いたい